



あいさつ

中城村長 浜田 京介

沖縄県身体障害者福祉協会の皆様には、平素より障がいをお持ちの方の生活の向上や社会参加への寄与、ならびに本村の実施する福祉事業へ多大なご尽力を賜っていますこと、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

さて、「沖縄県身体障害者福祉展」は今回で62回という長い歴史を持つ展示会ですが、中城村で開催されるのは初めてであり、中城村護佐丸歴史資料図書館を会場とできることを大変喜ばしく思います。

また、インターネットで会場を見学できる「バーチャル福祉展」が今年も実施されるということで、遠方にお住いの方や外出が困難な方など、直接会場に足を運ぶ事ができない方にも福祉展を楽しんでいただけるようになっております。

展示している作品は、どれも出品者の思いや熱の感じられる素晴らしいものであり、作品づくりを通して自分自身との対話や周囲の方との交流を重ね、創作されていることが伺えます。そういった日々の積み重ねの一端を感じ取れる作品に触れられる本福祉展は、障害者の文化芸術活動の推進の観点からも代えがたい価値があり、ぜひ多くの方にご鑑賞いただけるよう期待しております。

結びに、本福祉展を開催するにあたりご協力いただいた多くの関係者の皆様へ感謝の意を表するとともに、益々のご健勝を祈念いたしまして、挨拶いたします。